

衛研第 1 - 1 5 号
令和 5 年 7 月 1 2 日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 埼玉県内情報
2. 新型コロナウイルス感染症発生状況（第 27 週）－小児科定点・内科定点からの報告－
3. 注目すべき疾患（ヘルパンギーナ）
4. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移
5. 感染症発生状況（全数把握対象疾患）
6. 感染症発生状況（定点把握対象疾患）
7. 全国・関東情報
8. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
埼玉県病原微生物検出情報（月報）
9. 感染症の流行状況

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0 4 9 3 - 5 9 - 9 3 2 5
F A X 0 4 9 3 - 5 9 - 9 6 1 3
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 27 週（7 月 3 日～7 月 9 日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	7 人 類型 患者 6 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 6 人、O26 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
デング熱	1 人 推定感染地域 インドネシア
レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
急性弛緩性麻痺	1 人 病原体 不明
急性脳炎	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 G 群
梅毒	12 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 5 人
破傷風	1 人
百日咳	4 人 年齢階級 0 歳 1 人、3 歳 1 人、 5 歳 1 人、10 歳代 1 人

<新型コロナウイルス感染症発生状況>

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(7.25→8.87:図1)は前週と比較して増加した。保健所別では、15 保健所管内（県内 17 保健所）で前週を上回った。

<定点把握対象疾患の患者情報>

ヘルパンギーナ(8.90→9.47:図2-1,2,3)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかな増加に留まったが、依然として非常に多い状況である。保健所別では、熊谷(20.38)、川口市(17.85)保健所管内からの報告が非常に多い。年齢階級別では1~4歳の報告が多く、66%を占めた。RSウイルス感染症(2.47→2.73:図3-1,2)の定点当たり報告数は、前週と同水準で、多い状況が続いている。保健所別では、幸手(8.67)、南部(8.00)、加須(5.33)保健所管内からの報告が多い。手足口病(1.60→1.79:図4)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、狭山(3.69)、南部(3.60)保健所管内からの報告が多い。咽頭結膜熱(0.55→0.64:図5)の定点当たり報告数は、やや高い水準にあり、注意が必要である。

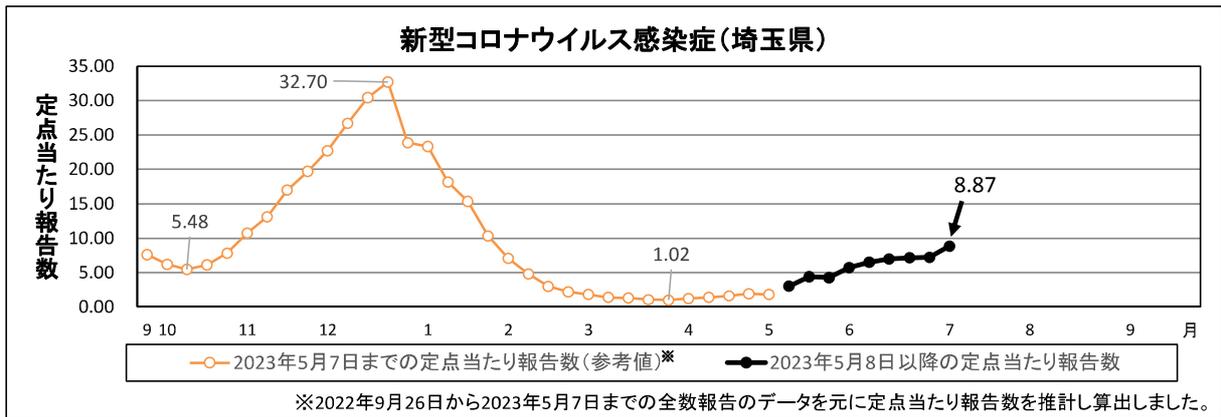
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 12 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、インフルエンザ(入院) 1 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第27週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



注目すべき疾患

－ヘルパンギーナ－

第27週の定点当たり報告数は9.47であった。過去10年の流行と比べ非常に高い水準にある(図2-1)。警報レベル開始基準値(6.00)を超えている保健所数は、前週同様に11保健所であった(図2-2)。年齢階級別では、例年に比べ、4歳及び5歳の割合が多く、6歳以上の割合も週を追うごとに増加している(図2-3)。

図2-1 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

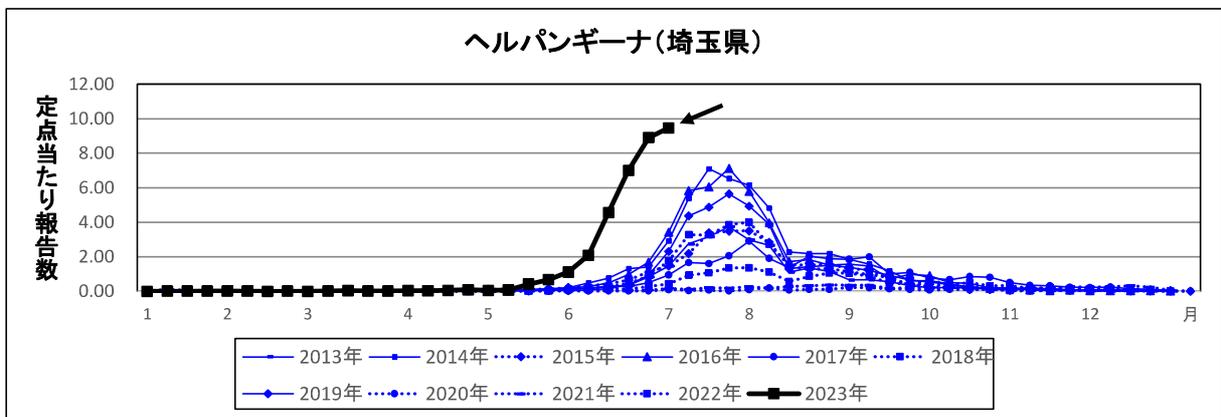


図2-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移(第25週～第27週)

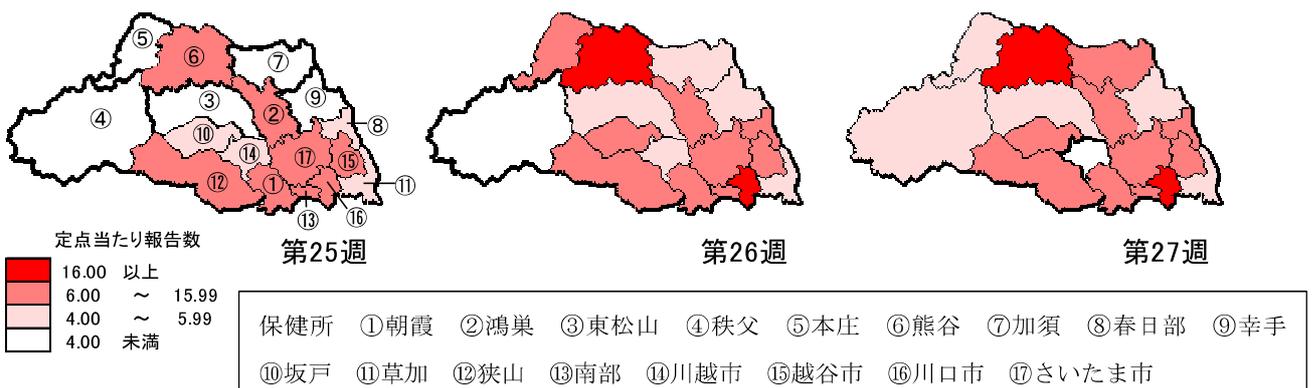
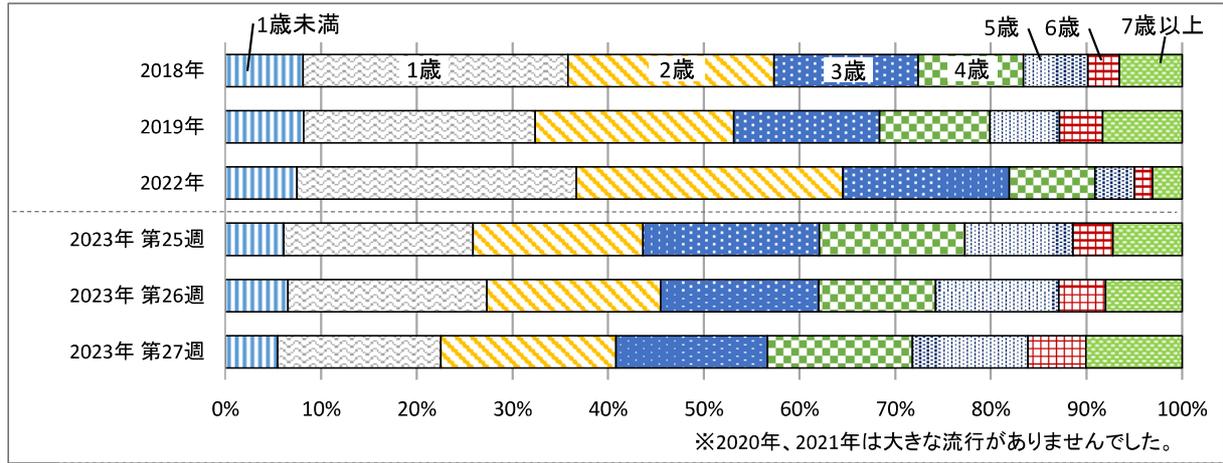


図 2-3 ヘルパンギーナの年齢階級別報告割合の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

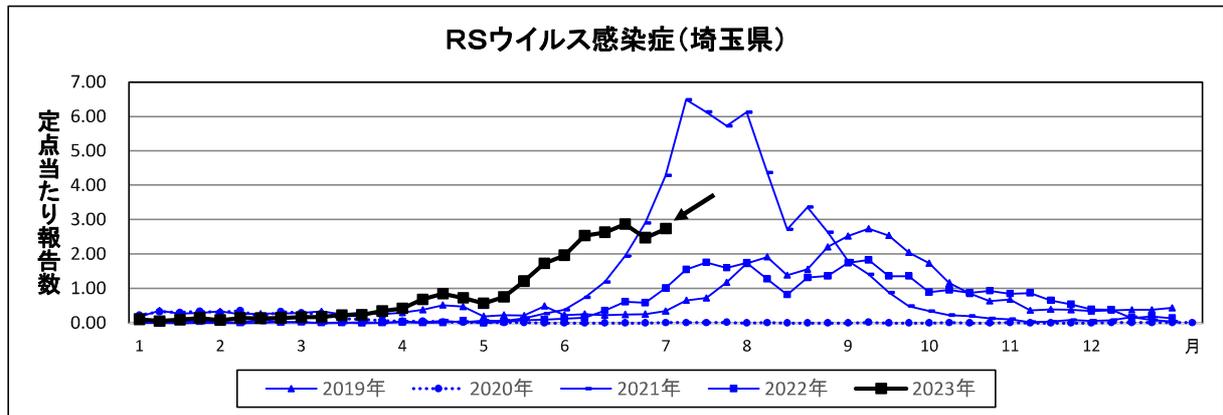


図 3-2 RS ウイルス感染症の保健所別流行状況の推移 (第 25 週～第 27 週)

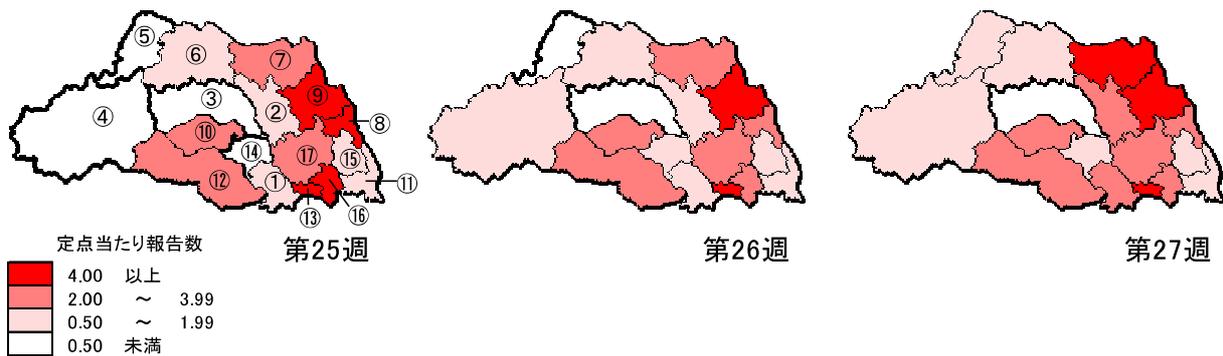


図4 手足口病

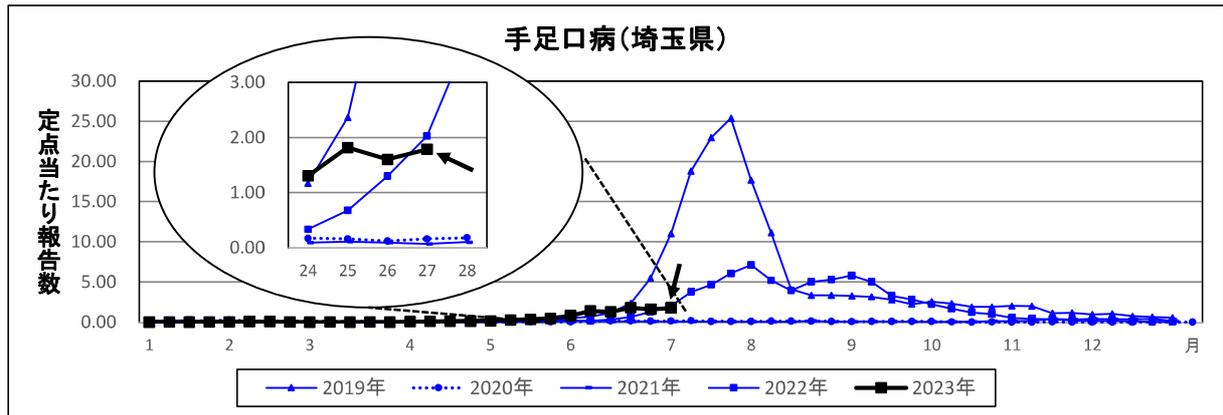
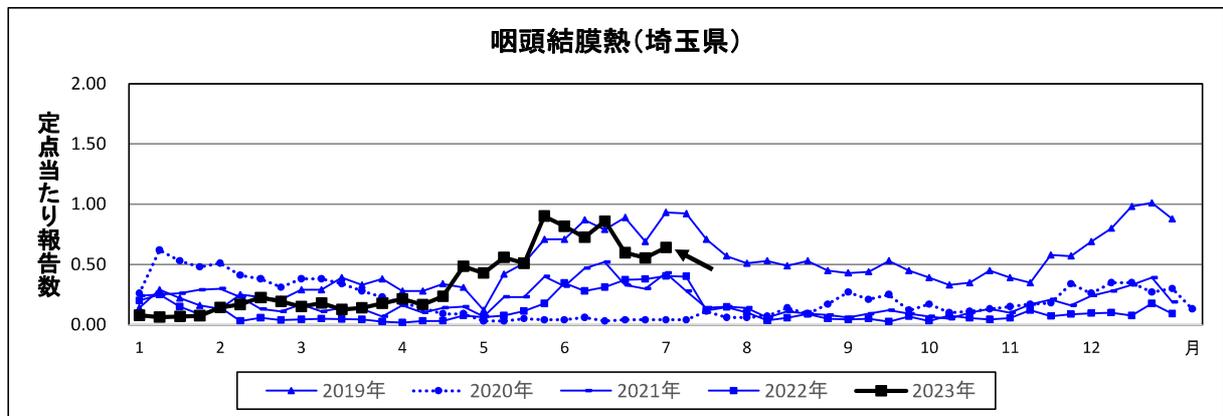


図5 咽頭結膜熱



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第27週)

(2023年7月11日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 *1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	7	66			
四類感染症					
E型肝炎	1	26	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	56
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱	1	3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	17	侵襲性肺炎球菌感染症		36
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		7
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1	4	梅毒	12	251
急性脳炎	1	20	播種性クリプトコックス症		4
クリプトスポリジウム症			破傷風	1	3
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		17	百日咳	4	25
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第27週

7月3日～7月9日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	ス	ス	熱	性	炎	痘	病	斑	ん	ナ	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎	炎
全 県	報告数 299	2,315	448	105	342	990	38	293	5	53	1,553	17	2	12	-	2	-	-	-	-	1
	1.15	8.87	2.73	0.64	2.09	6.04	0.23	1.79	0.03	0.32	9.47	0.10	0.05	0.29	-	0.18	-	-	-	-	0.09
朝 霞	報告数 62	210	31	13	25	115	7	4	-	3	173	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	2.70	9.13	2.07	0.87	1.67	7.67	0.47	0.27	-	0.20	11.53	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 18	214	40	11	18	83	3	11	-	3	169	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.95	11.26	3.33	0.92	1.50	6.92	0.25	0.92	-	0.25	14.08	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 -	60	2	4	2	33	-	9	-	4	22	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	-	7.50	0.40	0.80	0.40	6.60	-	1.80	-	0.80	4.40	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 -	37	3	2	2	-	1	-	-	-	15	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	-	7.40	1.00	0.67	0.67	-	0.33	-	-	-	5.00	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 1	27	7	2	-	2	-	2	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.14	3.86	1.75	0.50	-	0.50	-	0.50	-	0.25	4.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 5	80	12	7	10	55	2	12	-	8	163	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
	0.38	6.15	1.50	0.88	1.25	6.88	0.25	1.50	-	1.00	20.38	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 1	66	32	3	11	-	-	12	-	-	38	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.10	6.60	5.33	0.50	1.83	-	-	2.00	-	-	6.33	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 8	102	15	6	54	95	-	19	-	2	78	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.80	10.20	2.50	1.00	9.00	15.83	-	3.17	-	0.33	13.00	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 77	166	78	12	33	20	1	28	-	1	46	3	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	5.50	11.86	8.67	1.33	3.67	2.22	0.11	3.11	-	0.11	5.11	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 1	110	16	2	-	42	-	3	-	2	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.10	11.00	2.67	0.33	-	7.00	-	0.50	-	0.33	7.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数 23	239	9	6	15	91	-	38	1	3	63	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	1.21	12.58	0.75	0.50	1.25	7.58	-	3.17	0.08	0.25	5.25	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 34	279	48	6	37	56	6	59	-	4	105	2	2	4	-	-	-	-	-	-	-
	1.36	11.16	3.00	0.38	2.31	3.50	0.38	3.69	-	0.25	6.56	0.13	0.40	0.80	-	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数 4	98	40	6	33	59	2	18	-	7	71	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.50	12.25	8.00	1.20	6.60	11.80	0.40	3.60	-	1.40	14.20	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 16	78	9	1	15	25	2	10	-	3	27	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	1.14	5.57	1.13	0.13	1.88	3.13	0.25	1.25	-	0.38	3.38	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 3	173	9	4	10	62	-	5	-	1	78	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	0.23	13.31	1.13	0.50	1.25	7.75	-	0.63	-	0.13	9.75	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-
川 口 市	報告数 28	186	37	9	35	90	7	29	3	2	232	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	1.40	9.30	2.85	0.69	2.69	6.92	0.54	2.23	0.23	0.15	17.85	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
さいたま市	報告数 18	190	60	11	42	162	7	34	1	9	211	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	0.42	4.42	2.14	0.39	1.50	5.79	0.25	1.21	0.04	0.32	7.54	0.18	-	0.11	-	1.00	-	-	-	-	-

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月 11日

13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第27週 7月3日～7月9日)

	合計	-6か月	-12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	299	3	4	2	9	8	18	23	33	31	38	20	54	12	6	17	13	2	4	1	1
新型コロナウイルス感染症	2,315	13	27	33	27	40	17	25	18	30	28	40	229	161	314	253	311	311	195	147	96
	合計	-6か月	-12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	448	57	104	126	65	47	26	15	4	2	-	1	1	-	-						
咽頭結膜熱	105	2	6	23	18	16	17	8	6	2	2	-	1	2	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	342	1	4	15	22	38	52	40	52	39	26	16	32	1	4						
感染性胃腸炎	990	6	47	118	107	117	117	106	106	71	55	24	74	8	34						
水痘	38	1	-	1	1	-	3	2	3	5	7	3	12	-	-						
手足口病	293	2	14	73	56	48	50	22	8	11	6	2	1	-	-						
伝染性紅斑	5	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	53	-	8	33	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1,553	5	80	265	284	246	235	188	94	54	29	21	33	5	14						
流行性耳下腺炎	17	-	-	-	-	2	1	6	5	1	1	-	1	-	-						
	合計	-6か月	-12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	-	-	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第25週 (6月19日～6月25日)

令和5年7月12日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第21週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(18.09)、宮崎県(6.81)、長崎県(2.94)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は64例と前週と比較して増加した。都道府県別では20都道府県から報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～9歳(14例)、10代(7例)、30代(2例)、40代(6例)、50代(1例)、60代(4例)、70代(10例)、80歳以上(16例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(39.48)、鹿児島県(11.71)、熊本県(8.75)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(7.69)、山口県(6.23)、三重県(6.04)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(1.32)、山形県(1.29)、北海道(1.18)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.05)、鳥取県(3.32)、広島県(2.68)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(9.17)、埼玉県(8.09)、熊本県(7.76)である。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(3.68)、島根県(2.09)、山口県(2.00)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(0.45)、大分県(0.11)、鹿児島県(0.08)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮城県(14.00)、鹿児島県(12.25)、静岡県(10.12)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.30)、滋賀県(0.28)、広島県(0.23)、山口県(0.23)である。

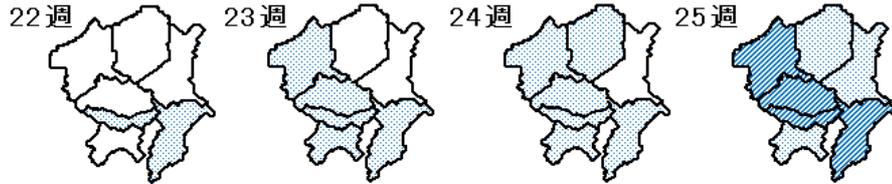
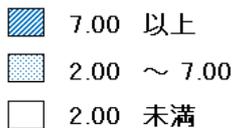
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(0.83)、山口県(0.44)、静岡県(0.30)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は増加した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では5～9歳(1例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第25週(6月19日～6月25日): 通巻第25巻 第25号 より

<関東情報>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、群馬県(8.39)、東京都(7.75)、千葉県(7.06)、埼玉県(7.01)からの報告が多い。

ヘルパンギーナ



2023年 25週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	5,896	1,291	110	33	29	239	156	412	312
	定点当たり	1.20	0.84	0.92	0.43	0.33	0.92	0.76	1.00	0.85
新型コロナウイルス感染症	報告数	30,255	9,684	778	301	335	1,873	1,592	2,577	2,228
	定点当たり	6.13	6.33	6.48	3.96	3.85	7.18	7.77	6.22	6.07
RSウイルス感染症	報告数	9,936	2,342	91	135	87	470	321	700	538
	定点当たり	3.16	2.44	1.21	2.81	1.61	2.87	2.51	2.69	2.33
咽頭結膜熱	報告数	1,923	439	38	8	35	98	57	111	92
	定点当たり	0.61	0.46	0.51	0.17	0.65	0.60	0.45	0.43	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,132	1,602	146	96	71	347	211	449	282
	定点当たり	1.63	1.67	1.95	2.00	1.31	2.12	1.65	1.73	1.22
感染性胃腸炎	報告数	15,630	5,493	376	106	307	1,327	778	1,510	1,089
	定点当たり	4.98	5.72	5.01	2.21	5.69	8.09	6.08	5.81	4.71
水痘	報告数	416	175	8	4	4	56	15	48	40
	定点当たり	0.13	0.18	0.11	0.08	0.07	0.34	0.12	0.18	0.17
手足口病	報告数	2,779	1,101	276	41	27	298	144	188	127
	定点当たり	0.89	1.15	3.68	0.85	0.50	1.82	1.13	0.72	0.55
伝染性紅斑	報告数	105	55	34	1	1	2	-	6	11
	定点当たり	0.03	0.06	0.45	0.02	0.02	0.01	-	0.02	0.05
突発性発しん	報告数	975	288	10	23	24	52	33	57	89
	定点当たり	0.31	0.30	0.13	0.48	0.44	0.32	0.26	0.22	0.39
ヘルパンギーナ	報告数	18,176	6,494	275	273	453	1,150	904	2,015	1,424
	定点当たり	5.79	6.76	3.67	5.69	8.39	7.01	7.06	7.75	6.16
流行性耳下腺炎	報告数	279	87	6	4	3	19	11	20	24
	定点当たり	0.09	0.09	0.08	0.08	0.06	0.12	0.09	0.08	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	9	3	-	-	-	3	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.07	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	257	84	19	4	2	10	13	4	32
	定点当たり	0.37	0.40	1.12	0.33	0.14	0.24	0.37	0.11	0.62
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	7	-	-	1	2	-	-	4
	定点当たり	0.03	0.08	-	-	0.11	0.18	-	-	0.33
マイコプラズマ肺炎	報告数	31	4	3	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.06	0.05	0.23	-	-	-	0.11	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

6月に分離された腸管出血性大腸菌 O157 は、H7(VT2)が12件、H7(VT1&2)が6件でした。

細菌検出状況

令和5年6月30日現在

病原体名	分離月			備考(6月分)	
	4月	5月	6月		
三類	腸管出血性大腸菌O157	6	6	18	H7(VT2) : 12、H7(VT1&2) : 6
	腸管出血性大腸菌O26	2	3		
	腸管出血性大腸菌その他	1		3	O103:H2(VT1) : 2、O104:H(VT2) : 1
四類	レジオネラ属菌	1		7	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1 : 6 <i>Legionella</i> spp.(LAMP陽性) : 1
五類	侵襲性肺炎球菌			1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型24F : 1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	9	3	3	<i>Enterobacter cloacae</i> complex : 2、 <i>Klebsiella oxytoca</i> : 1
	溶血性レンサ球菌 (劇症型)	2		1	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> : 1
	薬剤耐性アシネトバクター			1	<i>Acinetobacter baumannii</i> complex : 1
	その他	1	1		

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症

令和5年7月7日 現在(累計: 令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			
		4月	5月	6月	累計
E型肝炎	検体数	12	9	3	42
	E型肝炎	2	8	1	22
A型肝炎	検体数	2	1		10
	A型肝炎				2
エムボックス	検体数	9			13
	エムボックス	9			13
重症熱性血小板減少症候群	検体数		1		1
	SFTS				
デング熱	検体数	1		2	4
	デング			2	3

五類感染症

令和5年7月7日 現在(累計: 令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数				その他のウイルス
		4月	5月	6月	累計	
急性弛緩性麻痺	検体数	18	31	39	146	サイトメガロ(3)
	エンテロ D68	6	6		17	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	9	3	13	48	
	コクサッキー A2			1	1	
	ライノ	2	1		3	
	ヒトヘルペス 6				1	
	コロナ OC43				1	
検査中	4		10	14		
風しん	検体数				4	
先天性風しん症候群	検体数				8	
	風しん					
麻疹	検体数	3	19	26	69	麻疹(ワクチン株)(3)、水痘帯状疱疹しん(3)

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ*

令和5年7月7日 現在(累計:令和5年1月～)

臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		検体数													
インフルエンザ	検体数	53	56	48	24	16	20							217	新型コロナウイルス(2), RS(1), パラインフルエンザ 3(1), ライノ(1), アデノ nt(1)
	インフルエンザ AH1pdm09				1	5	2							8	
	インフルエンザ AH3	50	54	40	20	7	11							182	
	インフルエンザ B	1	2	7	2	2								14	
	検査中						4							4	

*急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの結果を含む。

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

令和5年7月7日 現在(累計:令和5年1月～)

臨床診断名	ウイルス	採取月												累計	その他のウイルス
		12	21	8	19	29	55								
RSウイルス感染症	検体数				7	3	20							30	コロナ(1), ポカ(1), ライノ(5)
	RS				3	2	16							21	
	検査中						2							2	
咽頭結膜熱	検体数			1	1	1	4							7	
	アデノ 2			1										1	
	アデノ 4													1	
	検査中					1	4							5	
感染性胃腸炎	検体数	1	1	3	6	10	6							27	アデノ 1(1), パレコ(2), ライノ(1), ポカ(1)
	ノロ	1	1			1	1							4	
	サボ				2	1								3	
	アストロ				1	1								2	
	ロタ(A)													1	
	アデノ 40/41					1								1	
	検査中						1							1	
手足口病	検体数			1	1	2	8							12	
	コクサッキー A2					1								1	
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A6														
	コクサッキー A16			1										1	
	エンテロ A71				1		2							3	
	検査中					1	6							7	
突発性発しん	検体数			2		1	2							5	パレコ(1)
	ヒトヘルペス 6														
	ヒトヘルペス 7														
ヘルパンギーナ	検体数	1	2		1	5	7							16	アデノ 1(1)
	コクサッキー A4					1	1							2	
	コクサッキー A5				1									1	
	検査中					4	6							10	
流行性角結膜炎	検体数	1	2		1	1								5	
	アデノ 37	1				1								2	
	アデノ 53		1											1	
	アデノ 54														
	アデノ 56		1											1	
	アデノ 64				1									1	
無菌性髄膜炎	検体数	9	16	1	2	6	8							42	
	パレコ						1							1	
	単純ヘルペス 2					1								1	
	検査中						6							6	

急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランス

臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	
		検体数													
インフルエンザ様疾患	検体数	86	85	84	51	85	331							722	
	新型コロナウイルス	21	19	16	14	40	89							199	
	インフルエンザ AH1pdm09					1	7	2						10	
	インフルエンザ AH3	48	48	40	20	7	11							174	
	インフルエンザ B	1	2	7	2	2								14	
	ヒトメタニューモ				1	1	5							7	
	RS		1		4	1	3	22						31	
	コロナ HKU1		4	3	2			1						10	
	コロナ NL63			1	1				2					4	
	コロナ OC43			1		2	2	3						8	
	パレコ							3						3	
	ライノ			2	4	2	5	17						30	
	ポカ			1				18						19	
	パラインフルエンザ3				1	1	6	25						33	
	パラインフルエンザ4						1	10						11	
	エンテロ nt							3						3	
	アデノ 1		1											1	
	アデノ nt					1			2					3	
		検査中						86							86

感染症発生動向調査
2023年

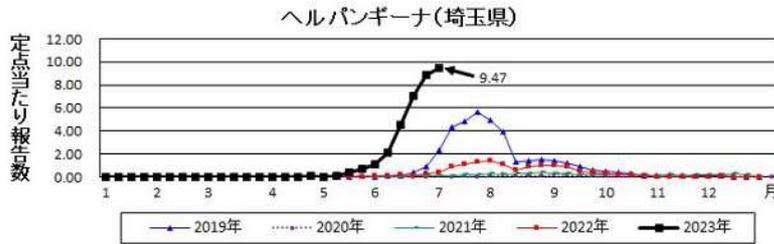
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

感染症の流行状況 2023年 第27週

2023年第27週（7月3日～7月9日）の要点 令和5年7月12日

[ヘルパンギーナ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して僅かな増加に留まりましたが、非常に多い状況です。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★	手足口病	→	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★★★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

